

環境シンポジウム事業計画

1 目的

我が国には、万葉の時代から自然を敬ってきた心、生活様式があります。これは、自然や環境を単に利用すべき対象ではなく共感すべきもの、共に生きるべきものとしての感性や考え方に培われています。そして、欧米の語彙にない『もったいない』という言葉には、循環型経済システムを創ってきた『環境のわざ』の感覚が込められています。

都城の環境の将来像『ずっと暮らしたい都城（みやこんじょ）』は、都城で生まれた人、育った人、都城に来た人、都城のことを知った人、誰もが「ずっと暮らしたい」と思える都城となること、最も望ましい環境の姿ではないでしょうか。

そのような中で、人がいつまでも「暮らしていける」、「暮らしたい」と思うには、経済的にも精神的にもゆとりが必要です。楽しいことも必要です。人やまちに活気があり、交流があることが必要です。まちの中でうるおいを感じられることも必要です。

『ずっと暮らしたい都城（みやこんじょ）』を実現するため、今、私達の暮らしから『環境のわざ』を伝え、広めることを目的に、環境シンポジウムを開催します。

2 概要

日時：平成 20 年 11 月 14 日(金) 13 時 30 分～15 時 30 分

会場：都城市中央公民館（都城市 姫城町）

主催：都城市、環境結いネット都城

3 シンポジウムスケジュール

13：30 開会

13：02 都城市長あいさつ

13：05 講演

講師：スイス近自然学研究所代表 山脇 正俊 氏

テーマ：次世代のまちづくりを目指して 近自然学のすすめ

“豊かさと環境を両立させるまちづくり”

質疑・応答（約 30 分）

15：30 閉会

講演会

テーマ：次世代のまちづくりを目指して

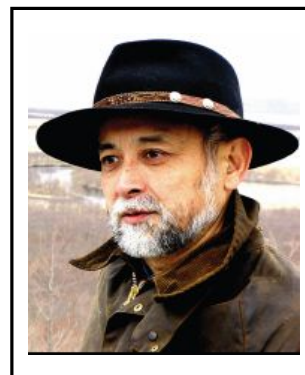
近自然学のすすめ

“豊かさと環境を両立させるまちづくり”

講師：スイス近自然学研究所代表

やまわき まさとし
山脇 正俊 氏

電気工学修士（ドクターコース終了相当）
近自然（工）学研究者
スイス近自然学研究所代表
スイス連邦工科大学 &
チューリッヒ州立総合大学講師（武道）
北海道工業大学客員教授



豊かに生き延びるためにはパラダイム(新しい規範・新しい考え方)が必要です。

* 日本は破滅の危機（破滅か繁栄かの分水嶺）に直面している。

* 時代が変わったことが危機の原因！

* 新たな価値観：個人個人の人生のクオリティー・アップこそが重要。

* ニュー・パラダイムとしての『近自然学』の考えを基本として、スクリーン（映像）を通して、分かりやすく紹介します。